

平成26年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	公明党
-----	-----

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
3	一般会計	生ごみ処理機等補助事業	都市経済分科会

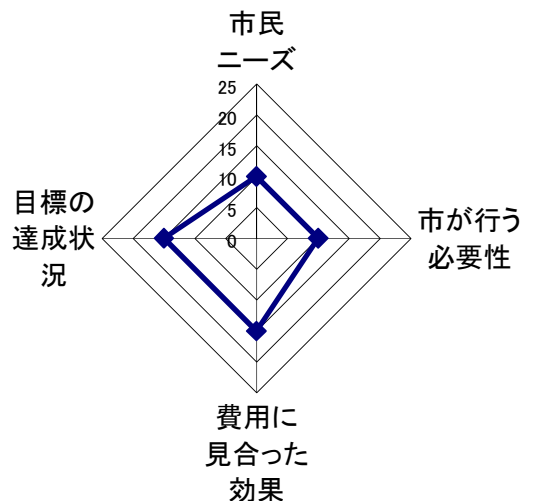
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ○ ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	常総広域堆肥化事業がある中で、市民全体からすれば、ニーズは低いと考えられる。しかし、広域の事業は、市民全てが参加できないため、堆肥化したい人には必要性がある。
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ○ ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	10	ごみの減量を推進するため、処理機を購入しようとする人の後押しにはなる。
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ○ ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	上限2万円の補助で、生ごみの家庭内処理が多年にわたってできることは有効である、
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ○ ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	15	成果があがっているかは、使用期間によって大きな違いがある。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	50
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
1 不適正である 0点		

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
生ごみを家庭内処理できることは、大変望ましいことである。長期間の補助事業で、補助世帯は1,000世帯を超えているが、そのうちどれだけの世帯が使用しているかはわからない。平成20年に行ったアンケート調査結果では、約4割が使用していない。理由としてチップの費用がかかる。処理機の性能や使い勝手が悪い、壊れた等をあげている。再度アンケート調査をし、しっかりと成果があがっていれば、事業を拡大するという選択もある。

平成26年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	市民クラブ・維新会
-----	-----------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
3	一般会計	生ごみ処理機等補助事業	都市経済分科会

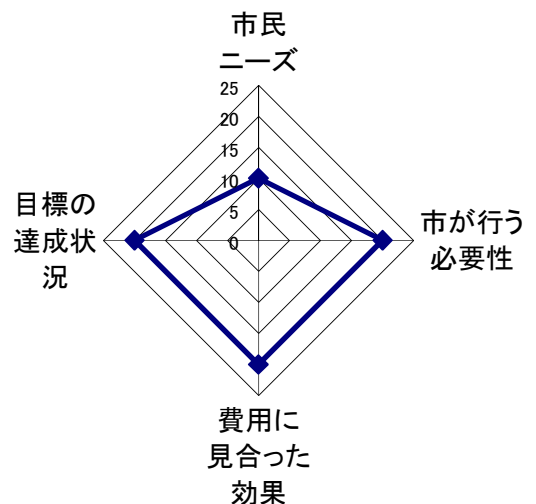
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ○ ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	家庭内処理ができることから、ニーズはある。10年前は100基以上だったものが、ここ数年は20基前後である。
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ○ ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	20	ごみの減量化という考えに立つと、市が補助金を出すという事で、推進につながる。
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ○ ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	20	購入世帯835件のうち、61%が使用(平成20年のアンケートから)。年間ごみ130tの削減、金額で240万円の削減という事で、効果がある。
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ○ ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	20	生ごみの家庭内処理ということで、生ごみの減量化が図れる。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	70
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)  
生ごみの減量化が目標である。今後、常総広域の生ごみたい肥化事業への参加を促すのか、家庭内処理を促すのか、方向性を見出す必要がある。常総広域の生ごみたい肥化のほうは、キャパシティの問題と現在市内一部地域のみで行われていないことから、家庭内処理を促すこの補助は必要であり、継続していくべきである。

平成26年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	日本共産党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
3	一般会計	生ごみ処理機等補助事業	都市経済分科会

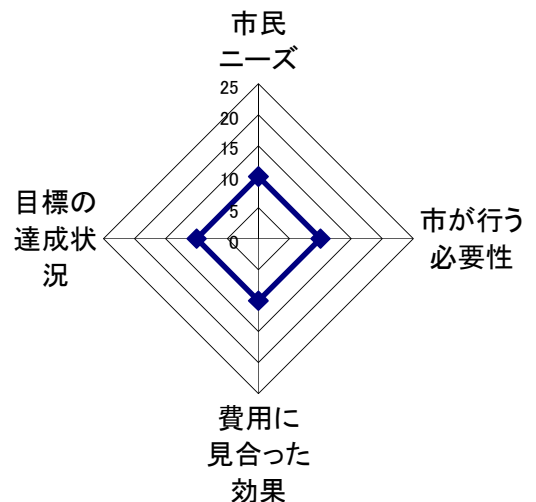
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ○ ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	当初は必要であった。
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ○ ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	10	
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ○ ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ○ ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	40
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
事業の見直しが必要。

平成26年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	みんなの党
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
3	一般会計	生ごみ処理機等補助事業	都市経済分科会

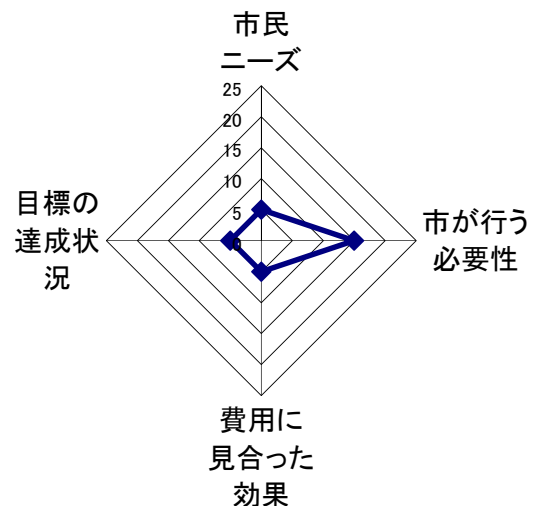
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ○ ⑥ニーズがない(0点)	5	当初に比べ利用世帯数も一桁台になりつつあるのが現状であり、市民ニーズが高いとは言えない。
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ○ ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	市が生ごみを率先して減らしていきたいという考えのもとの事業である為、行政主導の必要性が高いといえる。
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ○ ⑥効果がない(0点)	5	ここ4.5年の補助金交付世帯数の成果をみても横ばいである為、効果が少ないといえる。
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ○ ⑥成果がない(0点)	5	予算に対する申請者の数や予算に対する1人一日あたりごみ排出量(家庭系、行政回収分)直近過去3年分の成果実績も横ばいであり、効果が少ないと感じる。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	30
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
補助事業としては、新規の購入者が対象であり、これまでの経緯をふまえると新規購入者も限定されてきている。新規購入者が増えるための周知徹底もするべきである。今後継続していく場合は、やむをない修理や買い替え時も対象に考えてもいいのではないかと。

平成26年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや清流会
-----	--------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
3	一般会計	生ごみ処理機等補助事業	都市経済分科会

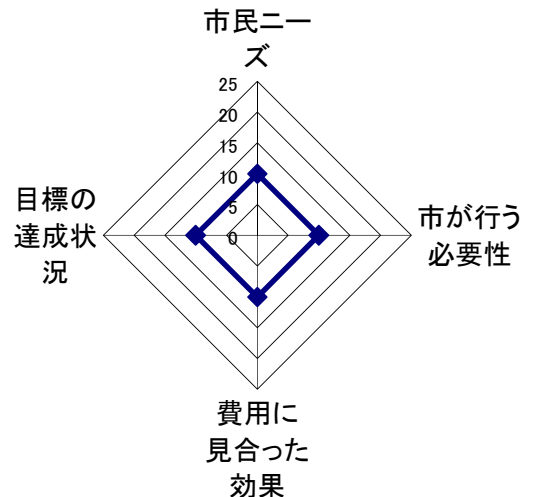
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ○ ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	10	平成11年から始まった本事業も15年が過ぎ、また補助が1世帯に付に一回のみということもあり、現在の市民ニーズは低下していると言わざるを得ない。
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ○ ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	10	市としての「生ごみ」行政の方針がはっきりせず、方針を策定しそのうえで、本事業を継続させるか廃止するかを決めるべきである。
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ○ ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	10	費用的には、導入台数によって市の負担が影響を受けるので、負担としてはそれほどでもない。しかし、『事業を継続していくことで、成果は向上して行く』ことを願うなら、もっと積極的に周知に努めるべきである。
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ○ ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	『事業を継続していくことで、成果は向上して行く』ことを願うなら、もっと積極的に周知に努めるべきである。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	40
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
1 不適正である 0点		

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)  
市の事務事業評価表では、『毎年度新規に導入する世帯があり、成果はあがっている。環境問題の住民意識も強く、補助の継続要望もあり、削減できない。』とあり、行政との評価は高力を入れているようにうかがえるが、補助上限を3万円から2万円に縮小した理由が見えない。守谷市として”生ごみ政策”をどのようにしたいのか、常総環境センターへの取り組み方を含めて、よく見えて来ない。”生ごみ政策”を統一的に検討する必要がある。

平成26年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	もりや未来
-----	-------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
3	一般会計	生ごみ処理機等補助事業	都市経済分科会

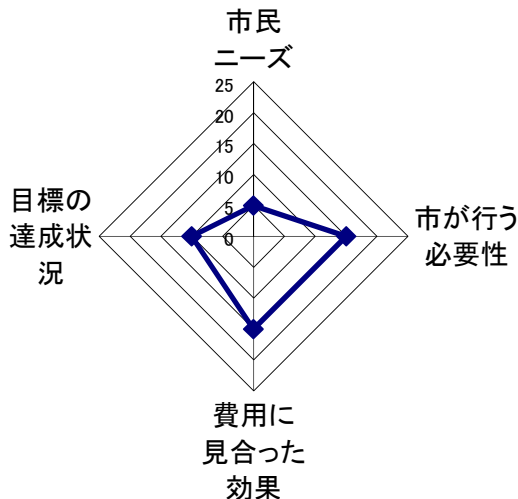
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	5	補助金の減額によりニーズが減少傾向である。
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	15	生ごみを削減するためには、市で推進する必要性がある。
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	15	補助金以上にコスト削減ができています。
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	10	年間導入件数の目標は達成できていないと思われる。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	6 きわめて良好である 100点	45
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
生ごみ処理機の使用により生ごみの減量や処理コストの削減はできているが、処理機の導入している家庭は少なく補助金の申請も減少傾向であり、事業の見直しが必要である。

平成26年決算予算特別委員会 事前評価シート(会派)

①

会派名	結いの会
-----	------

NO.	予算科目	事業名	担当分科会
3	一般会計	生ごみ処理機等補助事業	都市経済分科会

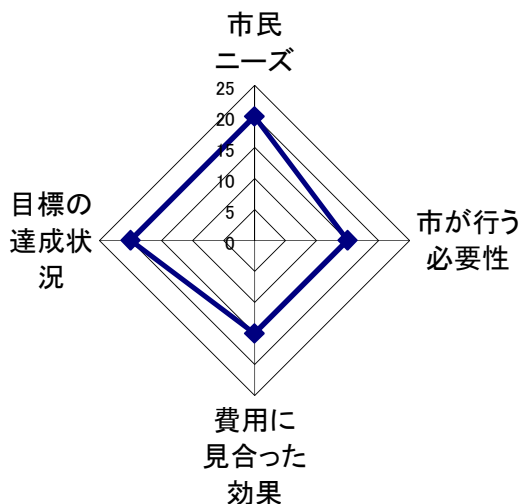
1 項目別評価

評価項目	評価基準(該当右欄に○)	評価点	評価コメント(100字以内)
(1) 市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点) ②ニーズが高い(20点) ③どちらかといえばニーズが高い(15点) ④どちらかといえばニーズが低い(10点) ⑤ニーズが低い(5点) ⑥ニーズがない(0点)	○      20	環境意識の高い市民が多く、近隣自治体と比べて利用者も多い。
(2) 市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点) ②必要性が高い(20点) ③どちらかといえば必要性が高い(15点) ④どちらかといえば必要性が低い(10点) ⑤必要性が低い(5点) ⑥必要性がない(0点)	○      15	市民の環境意識の向上という面から、一定の意義がある。
(3) 費用に見合った効果	①きわめて効果的である(25点) ②効果的である(20点) ③どちらかといえば効果的である(15点) ④どちらかといえば効果的でない(10点) ⑤効果が少ない(5点) ⑥効果がない(0点)	○      15	新規導入世帯は増加しており、一定の効果が見られる。
(4) 目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点) ②成果がある(20点) ③どちらかといえば成果がある(15点) ④どちらかといえば成果がない(10点) ⑤成果が少ない(5点) ⑥成果がない(0点)	○      20	守谷市の1人1日あたりのごみ排出量は全国平均、県内平均と比べても優秀。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	70
	5 良好である 76~99点	
	4 おおむね適正である 51~75点	
	3 問題がある 26~50点	
	2 かなり問題がある 1~25点	
	1 不適正である 0点	

事前評価レーダーチャート



理由(200字以内)
市民が各家庭で、自己負担と手間をかけながら行うことで、単純なごみの減量だけでなく、環境意識の向上・啓発効果が認められる。 また、電気処理機の補助金額を2万円に削減して以来、申請数の減少が認められるが、限度額を3万円に戻すことも検討してよいのではないかと。